

わがまち再発見!!

シリーズ 文化財の紹介

対馬市教育委員会 文化財課

0920(54)2341

『白村江の戦いと防人』

7世紀の東アジアは揺れ動いていました。中国では618年、隋が滅び代わって628年、唐が中国を統一します。朝鮮半島では北方内陸部に高句麗、西岸に百済、東岸に新羅の三国が並び立っていました。新羅は2国に圧迫される存在でした。627年、新羅は百済から攻撃を受けたので唐に援助を求めますが、唐は内戦中だったので援助は成立しませんでした。

国内統一を成した唐は国境を接する高句麗を3度にわたり攻撃しますが失敗したので、方針を変え百済を攻撃することにしました。高句麗と百済は唐に敵対し、新羅は唐と親密になります。660年、唐・新羅の連合軍は百済を滅ぼします。

一方、倭国は大化の改新中で唐の法制度を倣って国を統一しようとしていましたが、朝鮮半島の動きに警戒感が高まり、唐と結ぶか百済と結ぶか外交関係の二者択一をせまられます。

663年、百済復興の要請をうけた倭国は百済に2万7千人(4万余との説もある)の兵を送り、唐・新羅の連合軍と海上と陸上で戦いますが大敗します。『白村江の戦い』です。

敗戦のあと唐・新羅の侵攻を怖れて、対馬(金田城)、吉岐、大宰府

瀬戸内海などに防衛砦山城を築き、北部九州沿岸に防人を配備、都を難波から内陸の近江へ移して防衛網を完成させます。

670年ころから律令制度(律令法、令)行政に相当は地方にも浸透していきます。戸籍(世帯)と計帳(税の徴収)の台帳作成もその一つです。白村江の戦いで西国は疲弊してしまいましたので、戸籍に基づき、東国から防人を筑紫九州を指す)に派遣することになりました。

軍防令では「兵士の京に向かうをば、衛士と名づく。辺守をば防人と名づく」とあります。衛士の勤務は1年、防人は3年で、勤務地への往復旅程は勘定されません。さらに一人が携行するものとして弓、矢、太刀、小刀、砥石、水筒、塩桶など14点が挙げられています。

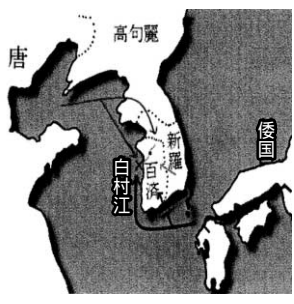
また目的地に到着するまでの食料は自前で調達しなければなりません。海を渡る際の食料は官給品となります。当然防人の負担を考えれば家族の中から若者1人だけ故郷を旅立ち筑紫に向かうことが考えられます。しかし軍防令には「凡そ防人(任地)に向はむ、若し家人、奴婢及び牛馬、將て行かむと欲ふこと有らば、聴せ。」と「もし防人が任地に向かうとき家人(家来)、奴婢(召し使い)及び牛馬を伴いたいと願うなら許してやれ」ということだと思えます。

9世紀初頭に編纂が成った「日本書紀」という仏教説話集に武蔵国(今の東京都)の吉志火麻呂という男が防人に点じられて筑紫に赴くとき、妻子は国に残し母親を同伴しましたが、どうしても妻子に会いたくないので、母親を殺せば、その喪に服すると称して防人の公役から免れ故郷に帰ることができると考え、母親殺害を計画した話が収録されています。

防として対馬に向かった防人の実態は不明ですが、万葉集に収められた防人の歌は別離の情と望郷の念にあふれています。

唐・新羅の連合軍は日本へ701年遣唐使が倭から日本に国名が変わったことを表明)を侵略することはありませんでした。対馬で3年の任期を終えた防人のその後については、知る手がかりはありません。

参考文献 「律令」日本思想体系 岩波書店 「日本書紀」 日本古典文学大系 岩波書店



つしま図書館情報

つしま図書館 0920(52)3900

おはなし会について

2月のおはなし会は19日(土)午後2時から開催いたします。どなたでも参加できます。みなさんのお越しをお待ちしています。長崎県が薦める『おすすめ本500選』の展示をしています。どうぞ一度お読み下さい。

2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

今月のおすすめ新着本

児童書	『たのしいマジック』 ゆうき とも / 著 トランプ、コイン、ロープ、ハンカチなど、身近なもので演じるマジックを満載。トリックそのものや使う技術だけでなく、演技をするための準備や心がまえ、ポイントとなるセリフも紹介する。	ジュニア版『99年の愛』 橋田 壽賀子 / 著 99年前にアメリカへ渡った日系移民を襲った第2次世界大戦。家族のため、愛する人のため、戦う相手はアメリカか、それとも日本か…。差別や戦争に翻弄されながら生き抜いた家族の物語。テレビドラマのジュニア版ノベライズ。	『いいから いいから』全4巻 長谷川 義史 / 著 【けんぶち絵本の里大賞(第17回)】ある日の夕方、雷がびかっと光って、ドンといった。すると、目の前に雷の親子が座っていた。雷親子をもてなすべくとおじいちゃん、「いいから いいから」が口癖のおじいちゃんと孫のユーモラスで思わず笑顔になる絵本。
	『本を読むってけっこういいかも』 香山 リカ / 著 腰をすて1冊の本を読むことは、心をさまざまなところに誘いながら、ストレスや欲求不満などを解放し、硬くなっている部分をやわらかくほぐしてくれる。精神科医・香山リカによる、こころを癒す読書術。	『未病にきく15のワザ』 未病にきくワザ取材チーム編 / 著 病気というほどではないものの、いつもなんとなく身体の調子がわるい。そんな「未病」を防いだり、楽にしてくれる15のワザを紹介する。今回も、医療の分野では著名な専門家がすすめておきのワザを紹介しします。	『孤鷹の天』 澤田 瞳子 / 著 この国を必ずや、よい国にするのだ。国を憂い、理想に殉じた若者たちの眩しいまでのひたむきさを描く。遷都1300年、奈良の都を舞台に繰り広げられる青春群像劇。